

7月の産地情報

輪菊	白菊	主な産地は愛知、静岡。新盆向けの入荷ピークは8日(月)で愛知産は昨年並み、静岡産は昨年より少ない入荷が見込まれる。
	黄・赤菊	主な産地は静岡、愛知。精の光彩が主体で、例年並みの作付け量。白菊同様8日(月)販売がピークとなる見込み。
小菊		福島、茨城、奈良中心。作付量は例年並みで、福島産は生育が前進している。需要期は色バランスの崩れが見込まれる。
SP・ディスプレイバッド		・SPマム:愛知、静岡、栃木、青森中心の入荷。新盆に向け上旬から入荷量は増加してくる。 ・ディスプレイバッドマム:愛知、静岡産が減少してくる。青森などの高冷地中心の入荷。
バラ		山形産メインの入荷。他各産地も潤沢な入荷量の見込み。
カーネーション		STは長野、SPは北海道メインの入荷。各産地出荷が出揃い、入荷量は安定していく見込み。
ガーベラ		メイン産地は静岡、愛知などで不定期だが、北海道産の入荷あり。改植の影響で各産地少なめの入荷量が続く。
かすみ草		福島産メインの入荷。昨年並みの数量の見込み。下位等級少なく、上位等級が中心。
リシアンサス		前半は関東、後半は東北中心の入荷。関東前進のため、例年より早い切り上がりが見込まれる。
ユリ	オリエンタル	埼玉、新潟平場が中心の入荷で、新潟山手のハウス物も増えてくる。高知は出荷終了となる。 白:色は6:4で、カサブランカと八重咲きも多い時期となり、全体入荷量も例年並みでやや多めの見込み。
	スカシ・鉄砲	・スカシLA:埼玉と新潟中心の入荷で、数量は例年並み。 ・鉄砲ユリ:秋田、長野、福島の新鉄砲ユリが入荷の中心となり、数量は例年並み見込み。
洋ラン類		・オンシジューム:輸入(台湾)、国産の入荷は落ち着き、先月と比べて量は減少する。 ・カトレア:入荷量横ばい。 ・シンビジューム:国産は出荷終了。輸入(ニュージーランド)の入荷中心。 ・デンファレ:輸入(タイ)は入荷量横ばい。国産は少しずつ入荷が増える。 ・モカラやバンダ:入荷量横ばい。
季節もの		・鬼灯:大分、静岡、長崎、宮崎産が生育順調。 ・ハス:生育が遅れているが短いものでは出荷がある。石川のハスは入荷量減。 ・グラジオラス:茨城産がやや前進傾向。昨年並みの入荷量。長野の新規産地が1件増え、全体量は増加。